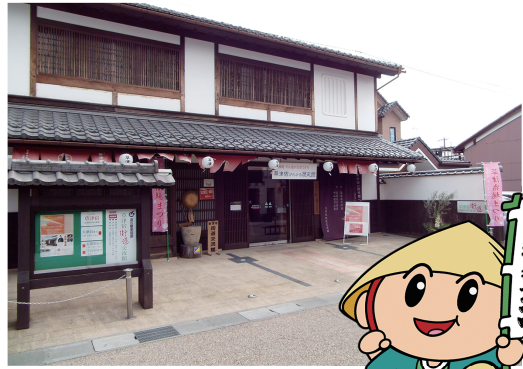


8

くらしの中に伝わる願い

わたしたちがくらす草津市には、昔から残っている行事や祭り、建物があります。どのような願いや言い伝えがあるのか、調べてみましょう。



史跡草津宿本陣

草津宿街道交流館

たび丸くん



史跡草津宿本陣



1

わたしたちのまちに残る古い建物

歴史を伝えるもの

草津には、歴史を伝えるものがたくさんあります。「草津宿本陣」は、昔、大名などが旅のとちゅうに泊まったり、休けいしたりした場所です。

気づく

草津で守りつがれているものには、どのようなものがあるのでしょうか。



昔の草津の様子<草津市蔵>



山崎宗鑑の句碑

山崎宗鑑は、室町、戦国時代に活躍した俳諧の祖で、草津市志那町の出身です。

4 質の高い教育をみんなに



11 住み続けられるまちづくりを



17 パートナースhipで目標を達成しよう



みなさんの地いきには、神社など歴史のある建物がありますか。また、昔から伝わる行事はありますか。みんなでさがしてみましょう。

自分たちの地いきの歴史や建物などについて、知っていることを話し合おう。

三大神社

常盤小学校区にある三大神社は、藤の花で有名です。みごとな花が地面にふれるほど長くなることから、「すなずりの藤」とよばれ、5月の連休にはたくさんの観光客がおとずれます。



三大神社 < (公社) びわこビジターズビューロー提供 >

道標

道を歩いていると石でできた昔の道案内を見つけました。

追分道標は、江戸（今の東京）までの道（東海道と中山道）の分かれ道を案内しています。

矢倉道標は、京都まで陸に行く道（東海道）と、びわ湖を船でわたって行く道（矢橋道）の分かれ道をしめしています。



矢倉道標

追分道標

調べる

建物や祭りなどには、どんな歴史があるか調べてみましょう。

2

わたしたちのまち に伝わる祭り

いかす

地いきの歴史がわかるものを、さがしてみましょ。



きょう土芸能

きょう土芸能にはいわれがあります。歌やおどりの一つ一つに意味があり、受けついできた人たちの思いや願いがこめられています。



祭り

地いきには、人びとが受けついできた祭りがあります。祭りを通して、人びとは元気になり、おたがいの結びつきが強まります。



ユネスコ無形文化遺産

「無形文化遺産」とは、芸能など形のない文化であって、土地の歴史や生活風習などに関わりの深いものことです。

調べる

草津市内にあるきょう土芸能には、どんなものがあるでしょう。調べてみましょう。



④草津のサンヤレ踊り（下笠）



④あざやかな衣装で踊りや太鼓を中心に演じられるサンヤレ踊り

草津のサンヤレ踊り

草津市のきょう土芸能の一つに「サンヤレ踊り」があります。サンヤレ踊りは、毎年5月3日に矢倉、下笠、片岡、長束、志那、吉田、志那中の7地いきで行われる行事です。かつては、お米などの農作物がよく実り、悪いことが起こらないようお願いをするために踊っていました。

地いきによって衣装や踊り方、リズムが少しちがいますが、7地いきで引きつがれ、「近江湖南のサンヤレ踊り」として国の重要無形民俗文化財に指定されています。

また、2022(令和4)年には「風流踊」の一つとして国際連合のユネスコ無形文化遺産に登録され、世界に認められました。

草津サンヤレ踊り



ただ、昔にくらべると、子どもたちの数がへってきていることなどから、祭りに出て踊る人が少なくなってきました。そこで、古くからの行事をこれからも長く残していこうと、ほぞん会の人たちは、さまざまな取り組みをしています。

見方・考え方のポイント

ほぞん会の人たちは、古くからの行事を残すためにどんな努力をしているのだろうか？



サンヤレ踊りほぞん会（下笠）の方のお話

サンヤレ踊りは、わたしたちも子どものころに地いきの人から教えてもらいました。春と秋の祭りの前には、週に数回、夜に集まって練習をしています。また、笠縫かさぬい小学校で子どもたちに踊りを教える活動もしています。数百年、引きつがれてきたこの踊りをたくさんの人に知ってもらい、これからも長く残していきたいと思っています。地域の人に限らず、いろいかぎろな人にサンヤレ踊りの楽しさややりがいを感じてもらい、広めていきたいです。

↑ サンヤレ踊りについて、6年生の子どもたちに話をされるほぞん会のみなさん

しづかわ 渋川の花踊り

草津駅に近い伊砂砂いささ神社にもきょう土芸能があります。毎年9月13日に行われる渋川の花踊りです。昔、農作業のときに雨がふるよう神社にお願いをして、作物がしゅうかくできたお礼として神社でおどったのが始まりとされています。毎年本番に向けて、ほぞん会の人たちが、仕事を終えて集まり、昔から伝わる踊りたしを確かめたり、本番のこそうだんを相談したりして、練習をされます。

また、ほぞん会の人たちが渋川小学校で踊りを教える活動を行うなど、花踊りがとぎれないように取り組まれています。

草津市内には、ほかにも上笠かみがさてんまんぐう天満宮で行われる講踊りこうおどりなどのきょう土芸能があります。



↑ 花おどりの様子



↑ 花おどりの練習風景

渋川の花踊り

